

# 進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2012. 1. 10

No. 74



## 新しい出発・どんな決意を？

新年明けましておめでとうございます。4月より皆さんにとっては新しい出発の時を迎えようとしています。多くの人はいよいよ大人の仲間入りをしていきますし、また進学する人は新たな進路に期待で胸膨らませているでしょう。まだ進路が決まっていない人も何人かいますが、一日も早く決まるよう祈っています。

一年の計は元旦にありといわれますが、皆さんは年頭に当たりどんな決意をしたでしょうか。人生にはいくつかの大きな節目の時があります。今**皆さんはその一つの節目の時を迎えようとしています。この節目の時にしっかりと節を結ばないと次のステップに行った時風雪に耐えられなくなるかもしれません。節を結ぶとは、これから自分はどう生きようとしているのか、自分の将来にどんな夢を抱いているのか、そうしたものをしっかり確認し決意新たに、次のステップに進んでいく心の準備をすることです。**そうしたものが曖昧なままこれまでの延長で捉えているだけでは、きちんと節を結ぶことが出来ません。

人間は日々変わっています。しかし自分で意識的に何とかしようとしなくては大きく変わることはないでしょう。**かつては青年達が「青雲の志」を抱き新しい世界に巣立っていきました。**野口英世が生家の敷居に「我が志成就するまで二度と再びここをまたがず」といった趣旨のことを彫刻しています。皆さんには今そうした志はあるのでしょうか。もう一度いにしえの青年達が抱いたこうした志を振り返り、皆さんも新たな決意を持ってこれからの人生に船出して欲しいものです。

## いかに新しいアイデアを生み出すがが問われる日本企業

80年代日本のハイテク企業は世界を席卷するような新しい工業製品をいくつか作ってきました。ところが最近日本企業のかつての元気さが見られなくなってしまいました。

たとえば携帯電話の世界も iPhone を筆頭にスマートフォンが一気に広がってきました。日本メーカーは iPhone に対抗してグーグルの 안드로이드 を採用していますが、いずれも米国の作ったものの焼き直しや小手先のマイナーチェンジをしているに過ぎません。韓国や台湾メーカーも 안드로이드 搭載のスマートフォンを開発していますが、こちらは価格にものをいわせ世界市場に食い込んでいますが、日本企業は日本国内の狭い市場向けに甘んじているだけです。

超円高や東日本大震災の影響もあり、日本企業そのものの元気が無くなり、いかに生き残るかの目先の対処に追われ、明日の種をどれだけ蒔いているのか不安になります。唯一の勝ち組である自動車産業もまだ技術力で世界をリードしているように見えますが、すでに韓国もハイブリット自動車でかなり追い上げを見せています。何よりも電気自動車に変われば日本の従来のもので作りの強さは一気に失われてしまう可能性が高いでしょう。

**世界をあっという間に驚かすような新しいアイデアを盛り込んだ、日本発の工業製品が生まれてこない日本の産業界はますます世界市場から霞んでしまいます。**これからの若い皆さんがアイデアを出し合い、少しでも日本の産業界を盛り上げてほしいものです。そうなれば日本ももっと元気になるでしょう。

皆さんも外国発の新しい携帯や新しい工業製品を追いかけるだけではなく、何か**新しいアイデアを作り出すような一人になってほしい**ものです。いつの時代も新しいものは若者から生まれてきています。

